

議会だより



指定管理者決まる ⑥

「まちづくりを語る会」より ②

一般質問 町への提言 ⑩

委員会レポート ⑱

ボランティア広場
「スペシャルオリンピックス」 ⑳

《東保育園 おもちつき》

軽井沢

KARUIZAWA

「まちづくりを語る会」より

今回は、10月22日 発地公民館、26日 追分公民館、27日 矢ヶ崎公園管理棟の3会場で開催しました。

議会では、活動の様子を地域に出向いて住民の皆様へ報告・説明し、議会に対する意見や提言を直接お聞きして、政策立案へつなげていくことを目的としております。



歩道 この先は…

どうやったら どうか

歩道整備を

問 町道発地馬取線の歩道が一部切れた状態であるが。

建設課長 用地交渉が難航し工事中断の経緯がある。橋本体の改修や掛け替えが必要なもので、実施時期を含め今後検討したい。

防災無線整備を

問 防災無線が聞きづらいので早急に整備できないか。

消防課長 スピーカーの向き、遠く近く広く届くよう工夫し改善していく。伝達方法としては、メール配信サービスで防災無線の内容を同時に周知する。今後、防災無線自動再生電話応答装置についても検討していきたい。

枝切り特区に

問 道路、歩道に出ている木の枝を優先的に切れるよう特区にできないか。

企画課長 19年台風時に特区の協議がされた

オリンピック

選手育成を

問 町の素晴らしい施設でオリンピック選手を育成できないか。

総務課長 トップアスリートの育成もあるが、今までスポーツをしたことのない人達が体育館で運動するなど効果も出てきている。両面合わせて使用してもらいたい。

県道の拡幅工事の進捗は

問 町道借宿バイパス線につながる県道の拡幅工事の進捗は。

建設課長 県では今年度、佐久方面から倉賀橋まで、道路と橋梁の詳細設計を実施している。進捗状況は、現道の拡幅案が、佐久方面から倉賀橋を渡りテニスコートとしなの鉄道の間を通る案を再検討している。

危険な通学路対策を

問 追分駅県道を下った辺りの通学路は、交通量が多く歩道も標識もないので対応をお願いしたい。部活等で真っ暗な中帰るのはとても危険。スクールバスの検討を。

建設課長 現状では、県でドットライン・グ



リーンベルトの設置をしているが、歩行者の安全確保は不十分である。今後粘り強く県に要望していく。

教育次長 町内循環バスも運行しているので、スクールバスの運行は難しい。

外国籍の子ども支援を

副 外国籍の子どもが 授業についていけないので国際交流協会が学習ボランティアで学習支援をしている。公的機関から人材派遣を。
教育次長 昨年度、県の課外教員を要望し西部小に1人配属された。東部小についても県に要望していく。

バリアフリー化を

副 信濃追分駅跨線橋の昇降が大変であるが、バリアフリーの取り組



網渡り状態のグリーンベルト

みが遅れているのでは。
企画課長 町から、しなの鉄道事業計画にあげるべき事で、町単独で昇降機を設置することとは、現状では難しい。町では道路、建物のユニバーサルデザインも含め整備しているので取り組みは遅れていない。

税金の減免措置を

副 固定資産税の高い 地域での一般生活者、

サラリーマン、年金生活者等に対する減免措置は。
税務課長 特定地域の固定資産税減額は現状では考えていない。

矢ヶ崎公園の池の整備を

副 矢ヶ崎公園の池が 汚れているので整備を。
建設課長 今後、実施計画の中で検討したい。

避難訓練、避難所体験を

副 避難訓練や避難所 体験等の実施は。
消防課長 避難所運営ゲーム等が体験可能な県の出前講座の活用も一つである。防災訓練で実際に避難所体験も今後考えたい。

電線地中化を

副 軽井沢駅周辺の電 線地中化は。
建設課長 28年からの4年間で、軽井沢本通りの東雲交差点から観光振興センターまでを県で行う予定。駅周辺は、15年当時実施に向け県と検討したが、電線管理者との合意形成が必要とのことだった。今後、国の動向を見極め検討したい。

中国語表示は

副 中国人観光客が多 いが、英語だけでなく中国語表示は。
企画課長 看板はできるだけコンパクトに日本語と英語表示のみと考えている。主要観光施設については、**二次** **コード** **で** 言語表示されることも考えなければならぬ。

民泊特区は

副 民泊特区認定で空 き部屋、空き別荘等を利用した観光客の宿泊は。
総務課長 町では民泊関係担当を集め現在検討している。しかし、当町では、宿泊施設がないわけではなく、逆に民泊特区を行政が積極的に進め、空き別荘で宿泊業を営まれると別荘文化が壊される心配がある。当町では

「規制する立場をとらなければいけないのでは」との議論もある。

遊休農地の草刈りを

副 遊休農地の草刈り を6月に実施できないか。

観光経済課長 緊急時の食糧確保に備え、農地保全の目的で実施しており、時期は委託先の都合による。
町長 町として食糧生産が減った場合に対応できるような仕組みで付ける状態にしておく必要がある。

農道整備は

副 農道整備の充実を。 **観光経済課長** 農地パトロール等で確認している。情報があれば早急に補修する。



迅速な外灯修繕を

園 外灯の増設と球切れの迅速な対応を。
生活環境課長 防犯灯の設置規定に基づき順次設置していく。電球交換、修繕は速やかにつとめていきたい。

貯木場チップは

園 貯木場のチップが貯まり放題だが。
観光経済課長 枝の搬入量が例年より多い。来年度は積み込みサービスを予算化し実施したい。

鹿の被害対策は

園 鹿害対策の充実を。
観光経済課長 出没場所の確かな把握で来年度400頭を目標に効率よく捕獲を計画している。

障がい者家族に思いやりを

園 障がい者家族の相談に事例を踏まえ丁寧な説明を。
保健福祉課長 ご意見を踏まえ丁寧な説明を徹底していきたい。

水害の心配は

園 八風湖周辺の大規模開発で水害が心配だ。
生活環境課長 各課の審査を受け協議が終了している。県の許可も得、雨水排水対策の計画もあることから、水害の心配はないと考える。

高齢化社会に對しては

園 高齢化社会について町の考えは。
保健福祉課長 高齢者の多様なニーズに応える新しい介護予防、日

常生活支援事業を29年度からスタートできるよう準備を進めている。

オンデマンド交通の検討は

園 オンデマンド交通を充実させ、広域での交通網を検討しては。
生活環境課長 当町は対象地域が広範囲で効率性が低くそぐわない。循環バスを充実させることで対応したい。

町営老人ホームは

園 町で老人ホームを造る気はないか。
保健福祉課長 町では特別養護老人ホームの計画はない。佐久広域圏内整備計画の中で決定していく。

サイクリング地 図とのリンクは

園 観光案内地図はしっかりとした縮尺や時間目印など入れ、サイクリング地図とリンクさせ共用する考えは。
観光経済課長 現在、

軽井沢エリアガイドマップにサイクリングマップが統合されているので利用できる。今後よりわかりやすい地図であるか見直す中で、距離、時間、目印が必要であるか検討していきたい。

浴槽付きの 町営住宅に

園 浴槽のない町営住宅は浴槽付きで提供しては。
住民課長 昭和60年度以降建築の住宅には整備されているが、その分家賃に算入される。浴槽のない住宅との公

平さを図っている。

遊歩道の安全を

園 見晴台への遊歩道を車が通るが、歩行者の安全のため、看板位置の検討が必要では。
観光経済課長 別荘地があり、車が通る。看板の位置や内容については検討する。

温泉券利用拡充を

園 温泉施設利用券をタクシーや介護用品に使用できないか。
保健福祉課長 温泉券は、循環バス、風越公園施設利用など拡充を図ってきた。今後検討する。



早くタクシーにも使いたい

議員懇談会

～ひとつのテーマをさらに深く～

議会では各種グループ・団体の方々と様々なテーマについて踏み込んで語り合い、要望をおききし意見を交換しあう場として議員懇談会を始めました。

軽井沢青年会議所（JC）

27年7月27日
商工会館
市川将明理事長他10名

● JC JCでは国際アカデミーの誘致を考えている。サミット誘致に至らなかった原因は、
議員 アカデミー誘致は国際会議都市をめざす軽井沢にとってもおおいに歓迎する。
サミットは首相が決定権をもっているのだから取捨選択はできないはず。

● 次世代の軽井沢を担う彼らだからこそ、その言葉の中に町づくりのヒントが隠されているのではと感じました。更に工夫を重ねた次回
の立会演説会にも期待しています。

軽井沢町教職員組合

27年8月19日
町役場第二委員会室
森田千晶先生他6名

「匿名の授業評価・学校評価の実施」に関して

議員 幅広く意見を集めるという意味では匿名の方がいいのではなか。的外れなもの職員間の話し合いでふるいにかけてほしいのだから取捨選択はできないはず。

● 教員 授業評価を数値化するということについては非常に問題があると思う。こういうふうには直してみたら、どうだろうかということができる。お互いに信頼関係を築きながら、いい授業をつくり上げていかなければならないと思っている。

軽井沢観光協会

27年10月9日
軽井沢町観光振興センター2階会議室
土屋芳春会長他25名

● 私たち議員にとって大切なのは、首長、教育委員会、教員、保護者、場合によっては児童生徒など多様な立場の考えを聴く機会をもつことであるように思いました。
多くの方が何が問題なのか認識を共有し、日頃から意見を交換し合う関係づくりが必要でしょう。
これからも、継続的にお話をきいていきたい分野です。

● 要望1 軽井沢駅のWiFi環境の充実などインフラの整備をお願いしたい。

● 要望2 軽井沢駅の案内がわかりづらい。また南口のエレベーターが一基しかなく、常に混

雑している。

● 要望3 他市町村では広域観光連携を組んでいる。軽井沢でも組んではどうか。

● 議員 単に補助金の増額という類いの話ではなかなか難しいが、条例改正や仕組みを変えることによって、事業がやりやすくなる、ということであれば協力できることはたくさんある。

● 情報発信や公共施設のインフラ整備、インバウンド、言語対策、自転車用道路、広域連携など様々な分野の実情をうかがうことができました。
それぞれの案件について今後もお話をきく機会をもちたいと思います。



時代とともに変わりゆく観光ニーズを聴く

老人福祉センター 僅差で可決

議案 審議

指定管理

老人福祉センター 屋内多目的運動場

問 民間事業の能力を活用し、福祉サービス・住民サービスの向上、効率を上げるために指定管理に出しているが、もう一団体との差は。公表はできないが、総合的評価による。利用者数は年々伸びているので、実績の問題はないと考える。

答 申請団体のノウハウがあるので、

問 指定管理に指名したその一番の決定的な理由は。

答 11人の委員が総合的に判断をして、施設の管理を有効的にやっていただけということを選定した。

問 役場に一番近い場所で、町民がいつでも利用できる老人福祉センターが、経費的・管理的なことだけで選定をされなければいけないのか。もっと福祉中心に考えられないのはどうしてか。

答 老人の憩いの場を重要視した。福祉業務に関しては、木もれ陽の里で行っている。

問 管理が中心でいいのか。基本的には利用者に喜んでいただくことでは。指定管理者によってサービスが下がったとしたら、良い方向にはいっていないのでは。

答 管理も含めて運営面の総合的な判断である。

問 ければならないが、どいつ項目の中に入っているか。あるいは書類の作成上書くような欄はあるか。

答 条例にも選定の審査基準が載っており、添付資料として実績も当然加味されている。その中での総合的な評価であり、全体的にバランスのとれた内容が基本である。



佐久浅間農業協同組合

「町民の交流の場に～老人福祉センター」

討 論

付託された社会常任委員会で原案が否決され、本会議で討論になりました。
(P.22参照)

《反対意見》

柳澤信介 町社会福祉の根幹をなす施設としての老人福祉センターの指定管理者について行政との互換性、協調性などを総合的に勘案し反対だ。

利根川泰三 町民の利便性向上に問題があり、このままの事業内容の指定管理者への提案には承認しかねる。

篠原公子 5年前と何も変わっていない。老人福祉センターを効率的に利用するため、事業内容、利用範囲など条例を見直したうえで募集すべきである。

《賛成意見》

大浦洋介 福祉を専門とする団体より農協の評価が高かった。

市村守 利用者は多いし喜んでいて。現状の施設運営については何ら問題がない。
土屋浄 農協の管理運営に指摘すべき瑕疵もなく、利用者は増えている。

結果【原案可決】

賛成8人、反対7人
賛成多数で原案可決

「指定管理者」決まる!!

老人福祉センターほか 14 施設を指定管理者5団体で 33年3月31日まで



(一社) 軽井沢町振興公社
「鉄道文化の魅力をアピールさせたい
～(旧)軽井沢駅舎記念館」



(一社) 軽井沢観光協会
「アジアからのお客様も気軽に立ち寄ります
～観光振興センター」



風越パークオーペレーション
「軽井沢のスケートの灯は僕らが受け継いでいます!
町内小学校スケートクラブの皆さん～風越公園スケートリンク」



(株)フードサービスシンワ
「自由通路での楽しみ 無料コンサート
～くつがけテラス」

契約締結

中学校の備品購入

新しくなる中学校における設備的な備品の購入についての契約です。

問 技術科機械は継続利用ということとだが。

答 技術家庭の機械機器類、ピアノ等使えるものについては移設する。

問 備品に関して、ここはということだわりを持って購入するものは。

答 今回購入する備品には教材備品は含まれていない。教材備品等は、教職員との協議で選定していく。

問 椅子、机、器具や棚等に、輸入品はあるか。

答 全て国内生産のものと確認している。

問 見学时ロッカーがあったが、バッグを置く場所は。

答 ロッカーについては、教室の後ろに作ったロッカー以外のものは考えていない。

2900万円

繰越明許費 

町道池ノ端軽井沢線擁壁改修工事



恵みシャレーからホテル鹿島ノ森へ抜ける道は以前から通行に困難を極めていました。路肩を含め自転車でも車でも安全に走行できるように直します。

問 この工事には路面の補修は含まれているか。

答 拡幅は不可能だったが、路肩の補修・周辺を含めた路盤の改修工事予定。舗装は630mである。



債務負担行為補正

中学校グラウンド 人工芝化他整備事業

8億7400万円

新校舎と共に新しくなる中学校のグラウンドに人工芝を敷きます。グラウンドのコンディショニングを気にせず部活動に励んでもらえるように、水はけが良い人工芝にします。

問 債務負担行為の場合、前払金はどうなるのか。

答 契約年度に前払い金の支払いは不可能で実施年度になるが、業者が希望すれば保証協会による支払いは可能である。

直売所案内看板

設置工事

1000万円

今春オープン予定の「発地市庭」へ幹線道路から迷わず行かれるように、案内看板を設置します。

問 直売所施設内ではなく、道路沿いの案内看板か。

答 国道・県道・町道に掲げる案内看板である。国道に関しては道路上空に突き出したものは禁止のため、国道沿いの民地になる。

「債務負担行為」とは… 次年度予算の一部を前倒しすることです。

複数年度にわたり支出を予定する事業については後年度の負担を明確にするため、また単年度の事業でも年度当初から事業を開始したい場合に使われます。当町は積極的に債務負担行為を行うことで時期による事業の偏りを防ぎ、年度当初から取り組めるようにしています。

その他の主な補正予算	金額	財源
住宅リフォーム補助金増	2億3000万円	町
JOCジュニア第39回全日本ジュニアスケート選手権大会補助	300万円	町
旧軽井沢地区公衆トイレ用地購入	780万円	町

一目でわかる審議結果

～採決結果一覧表～

● 全会一致の議案

議案第 60 号	軽井沢町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部改正
議案第 61 号	軽井沢町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
議案第 62 号	軽井沢町まちづくり基本条例の一部改正
議案第 63 号	軽井沢町国民健康保険条例の一部改正
議案第 64 号	軽井沢町国民健康保険税条例等の一部改正
議案第 65 号	軽井沢町公共下水道条例の一部改正
議案第 67 号	指定管理者の指定（軽井沢観光会館）
議案第 68 号	指定管理者の指定（軽井沢町地域交流施設くつかけテラス）
議案第 69 号	指定管理者の指定（軽井沢町観光振興センター）
議案第 70 号	指定管理者の指定（軽井沢町農産物等直売施設軽井沢発地市庭）
議案第 71 号	指定管理者の指定（軽井沢風越公園アイスアリーナ外 6 施設）
議案第 72 号	指定管理者の指定（軽井沢町都市施設さわやかハット外 1 施設）
議案第 73 号	町道の廃止
議案第 74 号	町道の認定
議案第 75 号	平成 27 年度町単戸籍総合システム更新機器類購入契約の締結
議案第 76 号	平成 27 年度町単軽井沢中学校初度調弁備品購入契約の締結
議案第 77 号	平成 27 年度町単軽井沢中学校初度調弁備品購入（体育備品）契約の締結
議案第 78 号	車両撤去土地明渡等請求事件に係る訴えの提起
議案第 79 号	平成 27 年度軽井沢町一般会計補正予算（第 6 号）
議案第 80 号	平成 27 年度軽井沢町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 86 号	平成 27 年度軽井沢町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）

● 賛否の分かれた議案

議案	1 寺田和佳子	2 西千穂	3 押金洋仁	4 利根川泰三	5 柳澤信介	6 遠山隆雄	7 横須賀桃子	8 川島さゆり	9 土屋好生	10 佐藤幹夫	11 市村守	12 佐藤敏明	13 大浦洋介	14 土屋浄	15 篠原公子	議決結果 (賛成: 反対)
第 59 号 軽井沢町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決 (14: 1)
第 66 号 指定管理者の指定 (軽井沢町老人福祉センター外 1 施設)	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	可決 (8: 7)

(○は賛成、×は反対、議長は採択には加わりません。)

● 陳情に対して一部採択・意見書を提出

介護労働者の処遇改善及び → 一部採択
人員配置基準の改善を求める (願意の一部を妥当と認める)



▶▶▶ 国へ意見書を提出しました ▶▶▶

介護労働者の処遇改善及び人材確保・離職防止対策を求める意見書

超高齢化社会を迎える中で、介護労働者の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題となっております。厚生労働省が発表した介護人材需給推計では、団塊の世代が75歳以上となる2025年には37.7万人が不足するとしています。2015年4月の介護報酬改定では、介護職員の賃金改善を促進するために、介護職員処遇改善加算が強化されました。しかし、基本報酬が引き下げられ、介護サービス事業者は厳しい事業運営を強いられ、これ以上の処遇改善を事業所に委ねることは困難です。人材不足は地域の介護施策に深刻な影響を与えるため、国の施策として人材確保・離職防止対策を推進するよう求めます。

介護労働者の処遇改善や安全・安心の介護を確保する職員体制の確立は、介護報酬の範囲内で対応されることとされています。しかし、各種介護サービスの基本部分に関わる介護報酬はこの間の介護報酬改定で大幅に引き下げられており、これ以上、事業所の努力に委ねることは困難です。よって下記の事項について国に強く要望します。

記

1、介護職員をはじめとする、介護現場で働くすべての労働者の処遇改善を図ること。

2、介護労働者の人材確保・離職防止対策を講ずること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣



一般質問

町への提言!!

12月会議では、8人の議員が一般質問を行いました。
質問、答弁は、11ページから18ページです。
内容に関しては、要約して載せてあります。



12月より部活動などでの使用が始まった中学校新体育館。

<1日目>
12月7日

<2日目>
12月8日

大浦 洋介 (11 ページ)

- 農産物売り場の運営「仕様書」を改めてでも、農協に担ってもらうべきではないか

横須賀 桃子 (12 ページ)

- 中学校の全教室に設置される電子黒板を有効活用できる研修会の実施を
- 中学生に「心と身体のガイドブック」を

西 千穂 (13 ページ)

- 地下水保全条例で井戸設置の申告漏れが発生することはないか

利根川 泰三 (14 ページ)

- ビーコン（近距離通信技術）を利用した観光案内を
- 道路管理にアダプトシステム導入を

柳澤 信介 (15 ページ)

- 新幹線 かがやき の軽井沢停車は
- 軽井沢に本屋がないが

川島 さゆり (16 ページ)

- 認知症支援対策は
- 女性のがんセット検診を

佐藤 幹夫 (17 ページ)

- イノシシの捕獲数を増やす対策は
- マイナンバー通知カードの発送は

土屋 浄 (18 ページ)

- 子どもの貧困対策を強め就学援助拡大を
- マイナンバーの便益は
- 要支援1・2の予防給付は

議事録は、議会ホームページで閲覧できます。



「一般質問」とは… 本会議で議員が行う町政全般に関する質問や提言をするものです。
当町の場合、一問一答で町側答弁も含め一人一時間以内となっています。

平成 28 年 1 月 20 日
第 109 号



大浦洋介

農産物売り場の運営「仕様書」を改めてでも、農協に担ってもらうべきではないか

町長

農協のために軽井沢農業があるわけではない。また、（農協参入は）難しいと思っている

問 指定管理者に選定されたフードサービスシンプは、特に、どの部分の評価が高かったのか。

企画課長 総合的評価で選定しているが、特にといえば、5年以内の通年営業化に向けてどのような運営ができたかを、重点において

問 選定されなかった農協に対して町は、農協との連携でどのような折衝をしているのか。
観光経済課長 町長が、JA佐久浅間本所に向いて仕様どおりに直売部門の協力を依頼した。その後も文章で要望するなど、折衝は続けている。

問 農協は、「仕様書は費用負担部分以外について明確な記述がないので関われぬ」としている。直売部門の従業員の指導、訓練から

い農協に任せてもいいのではないか。

観光経済課長 農産物売り場についても発地市庭の一部であるので、指定管理者による指導、教育、研修は必要である。（受けてもらう）

問 仕様書では、地場産以外の農産物は指定管理者から選定を受けなければ販売できない。全て農協に任せることはできないのか。

観光経済課長 農産物売場に農協が関わるかどうかかわからない仮定の話なので答えられない。

問 POSシステムも今農協の直売所で使用しているものではないか。

観光経済課長 農協が使っているPOSレジシステムのプラスαのものを考えている。

問 直売部門は、仕様書の内容を改めてでも、農協に運営を担ってもらうべきだと思うが。

町長 農協のために軽井沢農業があるわけではない。（農協参入は）難しいと思っている。



発地市庭の建設現場

中学校の全教室に設置される電子黒板を有効活用できる研修会の実施を



横須賀 桃子

教育次長

効率のよい研修会を業者にリクエストしていく

問 情報モラル教育にも役立つICT教育でもあるが、電子黒板を活用し、授業をどのように改革していく考えか。

教育次長 デジタル教科書を活用して授業の効率化をはかり、生徒が主体的に学ぶ授業を考え進めていく。

問 保存機能を利用して、教室以外で過している生徒や欠席者が授業内容を確認できるなどの活用は考えているか。

教育次長 使用方法やセキュリティの問題について先生と協議してから検討していく。

問 4月から先生が電子黒板を有効活用するために、模擬授業などの研修会を業者にリクエストして開催するべきだが。

教育次長 新学期初めに取り扱い説明会、そ

の後、すでに電子黒板を活用している教師を招いての研修会も予定しているが、業者にも研修会をリクエストしていく。

中学生に「心と身体ガイドブック」を

問 中学生に性教育を実施する意味をどのように捉えているか。

町長 教える年代が過ぎており、年代によって教える内容も変える必要があると思う。

問 思春期のライフスタイルが将来の健康に影響することを考え、異性・命・自己肯定感についての知識・情報と相談場所を一覧表にしたガイドブックを作成すべきでは。

教育次長 現在、保健の教科書と「中学保健ノート」また、「性に関する指導の手引き」を活用しているので、ガイドブックを作成する考えはないが、これからも生徒達の声に耳を傾け検討していく。



育もう、健康な心と身体を



西 千 穂

地下水保全条例で井戸設置の 申告もれが発生することはな いか

生活環境課長

もれのないよう、課を横断し対応している

問 条例制定以降で森林買収件数は。

生活環境課長 20件。

地下水採取を目的としたものはない。

問 井戸の把握と運用の状況は。

生活環境課長 27年11

月末現在で322件。

井戸設置者の水質検査等の報告も全て提出されている。

問 湧水は地下水が表出したもの。湧水の保全是地下水の保全。この条例は井戸の設置のみを問う内容だが、湧水も対象としては。

上下水道課長 町の水

道施設で8か所、簡易水道事業で5か所、専用水道事業で2か所、流量の多い湧水は水道施設水源として既に管理運用されており、条例の対象としない。

問 循環する水体系、

その公共性を守らなくてはならない。生命の源である水について、明確な活動や方策を推進することで、おのずと人が集まる憩の場、まさに保養地・軽井沢としての文化を維持できると考える。

地域の共有財産である湧水の保全是、まちづくり、環境学習へとつながる。湧水に特化した取組みを考えては。

生活環境課長 地下水

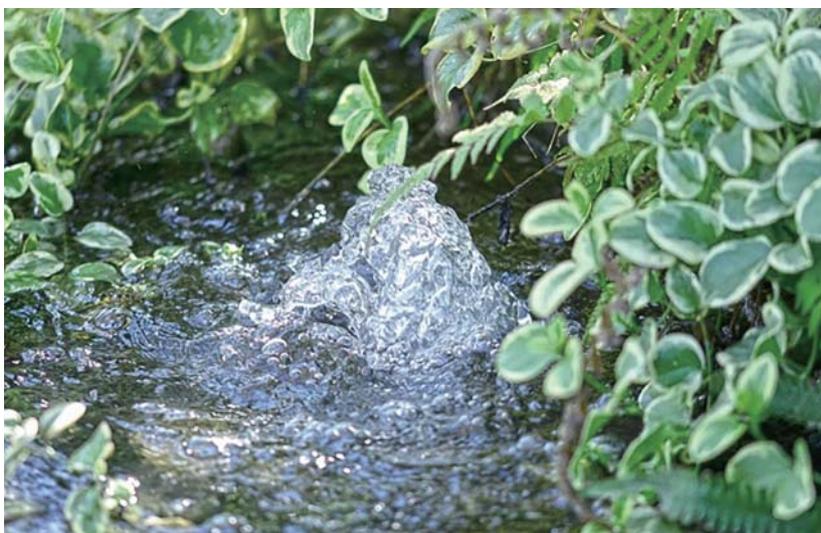
及び湧水の健全な循環や当該地域の保全などを目的とした会、「水資源保全全国自治体連絡会」に参加。

湯川親水公園は水に親しむ場として整備。

「軽井沢高原を美しくする会」は河川への不法投棄の監視や年4回町内12地点で水質検査を実施。「信濃川を守る協議会佐久ブロック」と年2回河川パトロー

ル、ゴミ拾いを実施。

町内3小学校から募集したトムソーヤクラブは水辺教室等で自然体験学習を実施している。



雄大な浅間山の恵み



ビーコン(近距離通信技術)を利用した観光案内を



利根川 泰三

観光経済課長

観光に活用する予定や計画はない

- 問** 27年6月から風越公園エリアでビーコンを利用しての案内の実証実験をおこなっているが、利用状況や反応はどのくらいあるか。
- 建設課長** 情報を得るための専用アプリのダウンロード数が6月から9月末で国内で107件、風越公園での数は不明。現時点での反応はまだない。
- 問** このシステムを利用していただくための活用方法の周知は。
- 建設課長** 公園内にチラシやポスターを掲示している。
- 問** このシステムを利用して、観光案内等に活用する予定や計画は。
- 観光経済課長** 実証実験を行っているが、検証していないのでこのシステムを拡大して観光に活用する予定や計画はない。
- 問** サイクリング用に付けられている標識の番号と、このシステムを掛け合わせることで、町内の散策等がより簡単・快適にできるようになると思うが研究の予定は。
- 観光経済課長** 設置場所や経費と利用頻度も含めての検証が必要。実証実験の利用状況を見て、検討をしていきたい。
- 問** 歩道や自転車道の管理をアダプトシステム(里親制度)を導入してできないか。
- 建設課長** 現在3つのグループが道路清掃活動を、15の区が除雪活動をしている。今後も多くの方々に参加していただるように周知していきたい。
- 問** 道路管理にアダプトシステム導入を。



風越公園で試してみよう



柳澤信介

新幹線 かがやきの 軽井沢停車は

町長

かなうように進めていきたい

問 東京・金沢間を最速で行くかがやきが軽井沢には停まらない。町としての考えは。

町長 最速のかがやきは停まらず、利用者からも声が寄せられている。JRにただ陳情や要望を寄せて、かなうレベルのものではないと考えており、どういうやり方で進めることが効果的かを考えたい。



停まって～！

発すべきときは声を発して、何とかかなうように進めていきたい。

※12月18日の会議最終日に藤巻町長のあいさつの中で、12月11日に国土交通省を訪ね、「新幹線かがやきの停車」について要望してきたことが報告されました。



本屋がない！！

軽井沢に本屋がないが

問 子どもたちの活字離れが言われているなか、本屋がなくなったが。

町長 町内唯一の書店が閉店したことは、町の文化の後退と捉えているが、民間の経営であるので、どうこうできるということではない。閉店された書店で

は、地域図書はもとより、町在住の作家、ゆかりの作家等の作品紹介など大変努力され、閉店は残念である。私も多くの方たちと出会いがあるので、機会を捉えて、軽井沢への出店というものを勧めたいと思っている。

認知症支援対策は

保健福祉課長

地域全体で見守り支えるネットワークが必要



川島 さゆり

問 町内の認知症の現況は。

保健福祉課長 27年4月1日現在、認知症高齢者464人、軽度認知障害（高齢による物忘れを含む）155人である。

問 **認知症カフェ**の設置は。

保健福祉課長 認知症に限らず介護の必要な方や家族を対象に住民が自主的に開催している所が1カ所あり、今後コーディネーターが協働し関係機関と協議しながら、各所で開催できるように取り組む。住民主体で地域の方が気軽に立ち寄れる場所を検討する。

問 認知症サポーター、キャラバンメイトの今後は。

保健福祉課長 キャラバンメイト養成と共に具体的な実践の場や機

会の紹介、登録制等サポーターの希望や意向にあった活動支援、人材の有効活用を検討する。

問 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員は。

保健福祉課長 委託を視野に関係部署と協議し近隣市町村と連携、県や医師会等に協力を仰ぎ30年までの設置に向け取り組む。地域包括支援センターの保健師1名を配置する。

問 認知症疾患の医療センター、専門医療機関との連携は。

保健福祉課長 佐久総合病院をセンターとし、小諸高原病院、軽井沢病院、認知症サポーターを配する診療所と連携している。

問 火災予防のためにIHフッキングヒーターの補助は。

保健福祉課長 不適正な使用で安全が確保できない恐れがあり、慎重に検証が必要である。

女性のがんセット検診を

問 土日の集団検診でセット検診ができないか。

保健福祉課長 軽井沢病院で年5回の土曜検診実施。今後乳がん検診も同日実施で調整していきたいと考えている。



誰でも立ち寄れる地域の縁側「野あざみ」



佐藤 幹夫

イノシシの捕獲数を 増やす対策は

観光経済課長

鳥獣対策専門員等と協議しながら、安全で有効な捕獲方法を模索したい

問 旧軽井沢地区を中心に、別荘の庭の苔が荒らされている件数が増えているように思うが。

観光経済課長 27年11月現在、被害報告、わな設置依頼で27件、目撃情報として7件が寄せられている。

問 毎週のように被害にあっている別荘ではいちいち報告してないので、実際の被害件数はずっと多い数になると思う。また写真の箱わなでは、今までに7頭捕獲したが、今年は1頭も捕獲できていない、今後は捕獲方法わなの設置場所、設置数も含めて、総合的に研究検討していく必要があると思うが。

観光経済課長 町に駆除依頼をいただければ箱わなをかけていきたい。人に危険の生じない場所で、別荘地の方

が、ここならいいよというような場所があったら、ぜひ町に言ってもらいたい。別荘地内では、箱わなの設置を増やすことは難しい状況だが、鳥獣対策専門員等と協議しながら、安全で有効な捕獲方法を模索していきたい。



一刻も早く捕獲したい

問 軽井沢町ではマイナンバー通知カードの発送はすべて終了しているか。

住民課長 12月4日に配達完了し、12月6日現在、配達時に不在のため、郵便局で保管中が379通である。

マイナンバー通知カードの発送は

問 個人番号カードを使って、コンビニなどで住民票や印鑑登録証明書、戸籍証明書等の交付サービスをおこなう市町村が増えているようだが、当町の対応は。

住民課長 当町においては、情報処理システムの基幹系の更新を30年度に予定しており、戸籍だけでなく、税証明等の提供サービスも含め導入を検討している。

子どもの貧困対策を強め 就学援助拡大を



土屋 浄

教育次長

入学援助金は早期支給を検討

問 子どもの貧困対策は世界でも日本は遅れている。ひとり親家庭の対策は特に遅れている。昨年施行された子どもの貧困対策の推進に関する法律は、国・自治体の責務として教育支援、生活支援、保護者に対する支援等を定めている。

教育次長 教育支援の一つに從來からやっている就学援助がある。町の現状は。

教育次長 経済的理由で就学困難な児童生徒の保護者に対し学用品費、給食費、修学旅行費の一部を援助している。対象は現在、小学生67名、中学生33名である。支給は10月と2月である。

問 入学前に買わなければならないものがある。なのに支給が10月とは遅すぎるが。入学前に支給すべきでは。

様式

○個人番号を記載しない
↓コピーできる者に制限はない
(本人同意等により)(PDF)

○個人番号を記載する
↓行政機関や雇用主など、法令に規定された者に限定される

表面(案)
氏名 番号 花子
住所 ○○県□□市△△町◇丁目○番地▽▽号 性別 女
平成元年 3月31日生 2025年 3月31日まで有効
□□市長

裏面(案)
1234 5678 9012
氏名 番号 花子
平成元年 3月31日生



教育次長 支給は前倒しして、早期の支給を検討する。

マイナンバーの便益は

問 マイナンバーカードによる町民の便益は。

住民課長 身分証明、電子証明がある。

問 町のメリットは。

総務課長 転入者の所得の把握が容易になる。

カード発行に伴う歳出は約2億1200万円。国の補助は3847万円の予定である。

問 それではデメリットの方が大きいのでは。情報漏えいの危険が危惧されているが。

総務課長 事故の起きないように努める。

問 町にとって迷惑な制度では。

総務課長 便利になることはあるが、費用がかかることであるので何とも言えない。

要支援1・2の予防給付は

問 要支援1・2の訪問介護・通所介護が介護保険の予防給付から外されるが。

保健福祉課長 サービス低下にならないよう引き続き地域包括支援センターが支援を担ってゆく。



「予防給付」とは… 支援が必要と認められた人（要支援1・2）に給付される介護保険の保険給付のことです。

広報広聴常任委員会研修報告

日程 27年10月20日～21日

議会だよりに さらなる進化を

「伝わる議会だより」
のための極意を学んだ
2日間でした。文章作
成の実技講座や優秀な
作例を参考にしたわか
りやすい講義も受けて
きました。

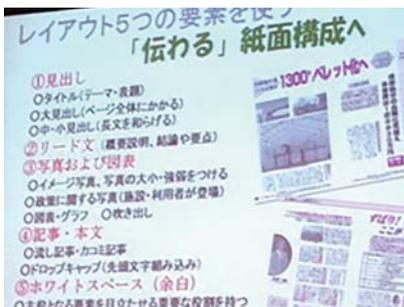
・議会の一方的な情報
発信ではなく、双方

・特集内容は、議会と
住民の両方の視点か
ら企画する

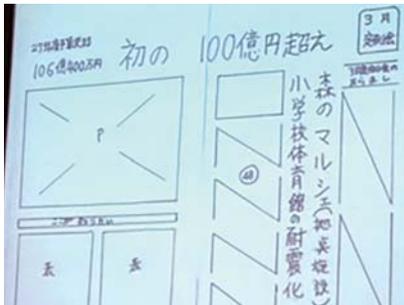
向のコミュニケーション
ツールである
・見出しやキャッチコ
ピー・ホワイトスペ
ースを多く入れ、一
目でわかる内容を心
がける

・議会だよりモニター
などで住民に積極的
に関わってもらう

今回学んだことを生
かし、より透明性のあ
る議会を目指します。



伝わる議会だより



センスが問われるレイアウト



全国から参加

進捗状況を確認 今後は運営面での提言も

11月末現在、建物はABC工区に分かれており主に屋根(下地)工事中で、進捗率は建物36.21%、外構87.65%です。

直売所 建設特別 委員会



オープンに向けて

市村守 当初の工程通り遅れることなく進んでいるのか。

観光経済課長 少し遅れているが3月中には完了する予定である。

横須賀桃子 キッズマウンテン付近には飛び出し防止柵などの措置が必要ではないか。

観光経済課長 工事を進めるなかで対策を考えた。

今後は委員会として具体的な運営プランやイベント、生産物供給体制について調査研究し、指定管理者と懇談する機会をつくっていくことで一致しました。

新校舎の

備品購入を審査

委員会での主な審査

中学校初度調弁備品購入

押金洋仁 入札時に辞退者が多かったが、適正におこなわれたか、また辞退理由は何か。

財政課長 2社が事前更には当日辞退であったが、入札は適正



廃棄以外の道はないの？

だけ

だったと思われる。辞退理由は品数多数で見積時間の不足、備品が多岐にわたるため揃えるのが困難であったようだ。

川島さゆり 備品のほとんどが廃棄になるよ

うだが、払い下げなどの処置はできないか。

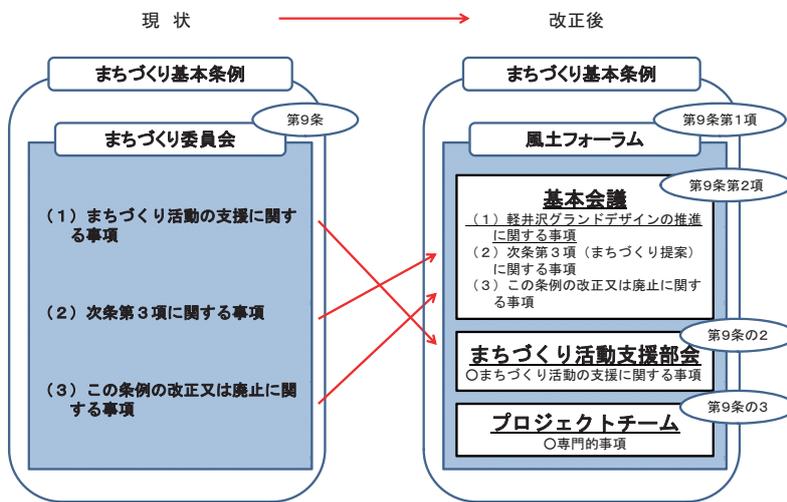
寺田和佳子 以前の音楽室の机・椅子は大変こだわった物だったが化粧直しして利用するつもりはないか。

教育次長 購入予定のものは使用不可と判断しているので全て廃棄である。

解体していく中で、状況が許せば希望者に払い下げも検討していく。

押金洋仁 備品選定は誰が行っているか。

教育次長 選定は設計会社の提案するコンセプトに沿い、教育委員会・建設課と教員が行った。



軽井沢の将来、まちづくりを一つの舞台に乗せて

まちづくり基本条例の一部改正

寺田和佳子 条例における軽井沢ブランドデザインの位置付けは。

川島さゆり 22世紀風土フォーラムの期限を決めての目標設定は。

企画課長 グランドデザインの周知のため、

22世紀風土フォーラムを立ち上げ、できることから取り組んでいく。特に期限を決めての目標設定はないが、プロジェクトチームに住民が参加し、意見を反映させ、まちづくり全般について考えていく仕組み作りである。

討論

マイナーバーの利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

《反対意見》

土屋浄 町民が得られるメリットは少なく、町にとっても経費増である。堺市では職員が持ち出したことによる情報漏えいがありセキュリティには大変不安がある。

《賛成意見》

川島さゆり 堺市の事件は人的過失によるもの、以前からある個人情報保護法よりも、マイナーバー法は刑罰が重い。今後、利便性が高まることが予想される。

結果【可決】

賛成6人、反対1人賛成多数で原案可決



公共施設の命綱、戸別受信機

防災行政無線システムに注目 (デジタル防災無線)

芦屋市 防災安全課

芦屋市では、22年より運用し、避難訓練・非常時の災害情報などに限って発信されています。

ます。「アラートと連携しており、屋外拡声支局と市内165基の戸別受信機（主に学校などの公共施設のみ）から放送されますが、

見て納得

視察
報告

〔視察日程〕

27年10月29日～30日

〔視察地〕

兵庫県 神戸市・芦屋市

風雨・建物立地の影響をうけ、聞こえない場合もあるそうです。この解消には、ネット回線を使用して携帯電話やパソコンでの伝達・行政無線が電話で何度でも聞ける自動再生システム・ローカルテレビで文字放送・広報車・有線放送の活用など、伝達ツールを多

数持つことでもれを防ぐ取り組みがされています。更に、日頃から防災への関心、避難時の正しい知識を身につけたり、各地域で防災士の育成にも力をいれています。

非常に感心したのは、各地区・教育施設に防災倉庫を完備し、鍵を共有し、鍵保有者はどの地域で災害にあっても全ての倉庫が開けられるようになってきていることです。

教育現場に赤ちゃんが 神戸発「赤ちゃん先生」

神戸市NPO法人
ママの働き方応援隊
芦屋学園短期大学

「みんな大事な命」をテーマに、育児中のママが赤ちゃんと教育現場に授業に行く画期的な取り組みです。

定期的と同じ親子が通うため、生徒は赤ちゃんと触れ合うことで成長を共有し、自らも同じように大切に育てられたことを再認識する

一口メモ
ることができず。

奇跡の確率で生まれた命について学び、自分も他者と同じ大切な命だと考えることで、いじめ・自殺防止に一石を投じています。

母親は、我が子を預ける学校に行くことで、教育に対する理解・関心を高められ、赤ちゃんは人見知り解消に役立つなど、一石二鳥の効果があります。



手取り足取り、抱っこの指導



排泄・食事・泣くのはなぜ？ 赤ちゃんの生活サイクルをチェック

「赤ちゃん先生」とは… NPO 法人ママの働き方応援隊のメインプロジェクトです。赤ちゃん和妈妈が教育機関などを訪問し、学び、癒やし、感動を共有して人として一番大切なことを感じてもらう人間教育プログラムです。県内では松本地域で始まっています。

一口メモ

老人福祉センターの 有効利用で論戦

委員会での主な審査

**指定管理者の指定
(老人福祉センター
・屋内多目的運動場)**

柳澤信介 福祉行政の中核をなす老人福祉センターを指定管理に出すことは間違っている。木もれ陽の里との関係もあるが福祉行政を一貫してみることが疑問を感じる。町の考えは。

企画課長 施設の設定目的は、健康の増進、レクリエーションのための便宜を総合的に供与するとなっており、選定は施設の目的に沿ったものであるが基本になる。

遠山隆雄 議決後の公表はどのように行っているか。透明性を図るために公表の仕方を考える必要があるが。

企画課長 ホームページや広報に、施設名と決まった団体名、担当課を公表している。今後、公表の仕方を検討していく。

利根川泰三 前回の指定管理者変更によって、利便性が損なわれたという意見を多々聞いている。サービスの向上について審査員の中で意見があったか。

企画課長 サービス面

も含めて審査をおこなっている。利便性が落ちたというような話は当初にあったが、担当課で指摘し改善されている。

西千穂 施設の目的でもある健康増進にもっと力を入れるべきであるが。

保健福祉課長 週2回介護予防教室で健康増進を目的に、「サロンあさま」を実施している。温泉施設も利用者に好評である。

町長 健康増進面では木もれ陽の里と老人福祉センターがある。



趣味活動を健康増進にも役立てたい

討論

《反対意見》

篠原公子 サロンあさまについて詳しい説明を。また選定にあたって2025年の超高齢化と、この施設をどう使うかについて、どのような検討がされたか。

保健福祉課長 サロンあさまは毎週月曜日と木曜日に実施されている。内容は健康体操など健康増進的な活動をしている。

総務課長 今回の選定にあたっては2025年問題に関する議論はなかった。

《賛成意見》

篠原公子 高齢社会をどうするか国を挙げての大きな問題である。5年前と同じようなことをやっていけないというような老人福祉センターであっては、超高齢化社会にそぐわない。老人福祉センターの改革のため、一度町に管理を戻し、町民の意見を取り入れ、条例を見直すべきである。

柳澤信介 町の福祉の根幹をなす老人福祉センターの指定管理に問題がある。木もれ陽の里との連携を図ってやる施設という気持ちがあぬぐいされない。

利根川泰三 改善された報告は聞いているが、5年後の今でも、施設の利便性が非常に損なわれていると聞いた以上、このままでいいのかという気持ちがある。

結果【否決】

市村守 老人福祉センターの利用目的は今後検討することである。審査項目に沿って審査した審査委員会の結果を重要視する。

賛成2人、反対5人
賛成少数で原案否決

少数意見の留保がありました。

提出者 遠山 隆雄
賛成者 市村 守

国民健康保険条例の一部改正

市村守 新火葬場の斎場及び霊柩車使用料は、当日現金で業者に支払うことの説明や周知は、**住民課長** 供用開始までに職員研修等により窓口での説明や周知を徹底する。

介護保険条例の一部改正

市村守 改正で個人番号が加えられるが、希望しない人の扱いは、**住民課長** 個人番号を記入せずに提出しても、そのまま受理する。

陳情

◎介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情
(一部採択)

*社会常任委員会として議長名による意見書の提出を発案した。
(※意見書P.9参照)

見て納得

視察報告

〔視察日程〕
27年10月29日～30日
〔視察地〕
富山県富山市、石川県金沢市

赤ちゃんからお年寄りまで

富山型デイサービス

富山市NPO法人
ふるさとのあかり
「このゆびとーまれ」

障がいの有無にかかわらず、いつでも誰でも住み慣れた地域で利用できる場所として、赤ちゃん・高齢者・子ども達が思い思いに日常生活を送るといいう新しいスタイルの福祉サ

ービスでした。高齢者福祉・障がい者(児)福祉・児童福祉がそれぞれバラバラの支援ではなく、同じ地域の住民がお互いを支え合う福祉サービスは、核家族やひとり親家庭が増えている現代だからこそ必要なサービスだと感じました。



新しいかたちのデイサービス

発達障がい者の雇用と支援

金沢市
株式会社ちほらファーム

発達障がい者の雇用先が必要であるとの考えから出発した「ちはらファーム」ですが、人とのコミュニケーションが苦手な方も多く1週間に1日、1ヶ月に1日だけ働きにくる人もいるとのこと。そ

んな中、代表者は、農業が力ギとなり発達障がい者の自立支援に必ず役立つと情熱を持って取り組んでいました。軽井沢の自然豊かな風土を活用して、当町でも障がい者雇用の場を農業を通して考えられたらと思います。



発達障がい者の雇用を農業で

所管事務調査

この半年の動き

- 6月15日 所管事務調査の決定 障がい児福祉について
- 7月29日 障がい児福祉基本勉強会 『障がい児福祉の現状と課題』
- 8月5日 視察研修 佐久穂町 『陽だまりの家』見学
- 9月29日 障がい児保護者との意見交換会 『木もれ陽の里』にて
- 10月29・30日 視察研修 富山市『富山型デイサービスについて』他
- 11月2日 障がい児福祉施設事業者との懇談会 『軽井沢町福祉施設の現状と課題』

議会改革の先陣を切る 3議会を視察

議会運営委員会・議会活性化特別委員会 合同視察

議会運営
委員会
議会活性化
特別委員会

11月16日(月)
北海道
帯広市議会



先進地から学ぶことは多い

子育て世代の皆さんに議会に足を運んで頂くために、幼児一時預かりを保育士配置で実施しており、議会の公開に力を入れています。

・傍聴者のための幼児一時預かり

・聴覚障害者のための手話通訳士の活用
・インターネットによる本会議・常任委員会、特別委員会のライブ中継
・積極的に議会の方から働きかける意見交換会の実施

議会に足を運んでもらい、より理解をしてもらう努力を欠いてはいけない、と学んできました。

11月17日(火)
北海道
栗山町議会

日本で初めて議会基本条例を制定した議会です。制定で満足することなく、日々検証を続け、中身のある実践で改革に挑んでいます。

・有識者による議会サポートの導入
・議員間の自由討論の充実
・議会報告会の時間や場所を柔軟に設定
・住民による議会モニターの導入

特に広聴に力を入れ、報告会を大切にすることで住民との距離を縮めています。これは当然でもすぐに取り入れたいものです。

11月18日(水)
北海道
芽室町議会

通年議会の中で、計画→実行→検証→改善を意識して活動している議会です。

・有識者による議会サポートを議員研修や事務局のアドバイザーとして有効活用
・議会基本条例に「検証及び見直し手続き」を明記。毎年これを実施し、結果をホームページで公表
・住民による議会モニターの導入

動く議会。常に検証を忘れず、その結果を積極的に公表することで、自らを戒めていく真摯な姿勢をお手本としたいと思います。

(取材・写真撮影) 押金洋仁



12月10日、寒空のもと東保育園で行われたおもちゃつきを訪ねてきました。

季節の話題をおさめに行ったつもりでしたが、ちょうどよいところへ来たため、急遽もちのつき手を担当することになりました。

園児たちの元気の良い「ヨイショー」のかけ声にも乗せられて、送迎バスの運転手さんと一緒に、すっかりいい汗をかいてしまいました。

おもちゃみたいなほっぺが並んだところを撮れたのは、その「ほっぺかな。お風のお雑煮待ちきれないね。」

表紙のことば

平成
28年

第1回軽井沢町議会定例会を開催

第1回議会定例会(1月第1回会議)が1月8日に町長より招集されました。



平成27年の通年議会 本会議・委員会・研修等の開催日数

平成27年の議会は第1回軽井沢町議会定例会(1月9日から4月29日まで)及び第2回軽井沢町議会定例会(5月1日から12月18日まで)の343日間にわたり開催されました。本会議等の開催日数は、下記の通りとなります。

名称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
本会議	1		5	1	1	5	1		5			5	24
全員協議会	1	1		1	3	2	2	1	1	1	1	1	15
議会運営	1	2	3	1	3	1	1		4			2	18
総務			1		1	2	1	1	2		2	2	12
社会			1		1	1	3	1	2	1	3	1	14
予算			4		1	1			1		1	1	9
広報広聴	2		2	2	1	3	3		2	2	1	4	22
議会活性化					1	1	1	1	1	1	1	1	8
直売所建設					1	1	1		1			1	5
決算									5				5
正副委員長						1							1
議員研修	1	1					3	2		5	1	1	14
議員懇談会							1	1		1			3
計	6	4	16	5	13	18	17	7	24	11	10	19	150

平成27年 視察受入状況 《他市町村等の議会より議会側への視察受入 7回》

7月6日(月)	長野県伊那市議会(議会改革特別委員会)	通年議会・自治基本条例について
8月28日(金)	福井県鯖江市議会(市民創世会)	通年議会について
10月5日(月)	愛媛県内子町議会(議会改革特別委員会)	基本条例・通年議会について
11月4日(水)	長野県山ノ内町議会(議会運営委員会)	基本条例・通年議会・議会報告会等について
11月19日(木)	山梨県鳴沢村議会	基本条例・通年議会・議会報告会等について
11月19日(木)	和歌山県那智勝浦町議会(議会運営委員会)	議会活性化の取組み状況について
11月19日(木)	富山県立山町議会(議会運営委員会)	基本条例・通年議会・議会活性化の取組みについて

議会傍聴においで下さい!
3月会議 2月25日再開予定!!

ボランティア広場

スポーツを通じて
社会参加をする国際的組織



スペシャルオリンピックス

公益社団法人スペシャルオリンピックス日本長野

アスリートを
募集しています！

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的発達障がいのある人たちの社会参加を応援するために、年間を通じ様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供している国際的なスポーツ組織です。SOは非営利の活動で、ボランティアと善意の寄付によって運営されています。



- SOでは、スポーツ活動に参加するアスリートを募集しています。SOの競技に参加してから、笑顔が増え活動的になったとのお話も。



- SOでは、スポーツ活動に参加するアスリート(知的障がいのある人達)と一緒にスポーツの練習をするパートナーや競技のコーチを募集しています。アスリートとスポーツを通して交流もでき、とても楽しい!との声も多数。

スポーツを一緒に楽しむ・大会やチャリティーイベントのお手伝いをする・資料の発送作業など事務局のサポートをするなど、ボランティアの形はさまざまです。自分にできる事を、自分にできる範囲で行うボランティアを通してアスリートと一緒にSOを盛り上げていきたいですね!

取材：横須賀 桃子

ボランティアに
参加してみませんか?
【スポーツの種類】ゴルフ
フロアホッケー・テニス
陸上・ボウリング・スキー
スケート・スノーシュー

編集後記

今回は、広報広聴常任委員全員で臨んだ研修の成果を見ていただくのにちょうど良い機会になっています。手にとって読んでいただくために、委員会の視察報告も写真と分かりやすい文章でお伝えするように心がけました。

白熱した委員会での討論が採決にも反映されています。少しずつ進化を続ける議会を応援していただけるとうれしいです。(寺田)

議長
委員長
副委員長
委員

内堀 次雄
川島 さゆり
押金 洋仁
寺田 和佳子
利根 川泰三
柳澤 信介
横須賀 桃子
市村 守
篠原 公子

— 発行 —
平成 28 年 1 月 20 日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒 389-0192
☎ 0267 (45) 8910
— 編集 —
広報広聴常任委員会
— 印刷 —
有限会社東城印刷
☎ 0267 (45) 1710